

## 第34回定期中央本部大会が開催される！！

7月13日～14日、宮津ロイヤルホテルにおいてJR西労組第34回定期中央本部大会が開催された。今回も新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴者は招集せず、代議員144名と執行部、準備地本、来賓といった構成であった。来賓には長谷川社長もお越しいただいた。

規模も昨年同様であるが、組合員が会場に赴いて議論できる形で開催できたことをうれしく思います。また、こうした大会を準備から終了まで成功裡に収めていただきました準備地本である和歌山地本に深く感謝申し上げます。



和歌山地方本部からは藤々木副委員長・脇村書記長・中田執行委員・小田執行委員・上本青女事務長の5名が代議員で出席し、本会議では脇村書記長、第一小委員会では上本事務長、第二小委員会では藤々木副委員長が、和歌山地本からの想いを込めた発言を述べ大会に参加してきました。また、藤々木副委員長は大会議長団にも選出され、大会を見事に進行してくれました。

【全体質問での発言】①安全考動計画の最終年度と次期計画への検証アンケート結果の盛り込み②「中統・近統」施策に伴う業務整理と働き方ビジョン、現場との業務のあり方③女性活躍に関する環境整備と女性役員育成について。

【第一小委員会】①若手組合員の離職。コロナ関連はあると思うが、普段からの不満要素も大きいと考える。上司として日々のコミュニケーションをもっと大切を受け止めてほしい②役員育成と役員なり手不足。労働組合への入り口活動がコロナで出来ていない。入社時からのキャラクター把握や人材確保が困難であり、役員へのなり手不足があるし、運動が出来ていないことにより、育成にも課題がある。

【第二小委員会】①施策について、電気は地方において提案を受けることとなる。電気関係グループや他系統にも影響する施策であり、丁寧な説明を求めるとともに、課題解決を図りたい。施設系統では今後提案があれば、しっかりと現状を踏まえた上で将来のビジョンを出す施策にならなければ納得しない。②安全お守り手帳の活用について、配布のみになっている現状を反省しつつ、他の活用事例などを共有いただき、活用の幅を広げたいと考える。



## ユニオンスクール(支部・分会代表者コース)を開催！

地方本部は、7月24日に第49期となる地本ユニオンスクールを開催した。今回は各支部・分会の三役を対象者として開催した。冒頭、宇田執行委員長から、コロナ禍における対応や参議院選挙への協力に対する御礼とこのユニオンスクール参加者への課題と期待を含めたあいさつを行った。安全の議題では「JR西日本連合・JR西労組 安全お守り手帳」について、安全提言を改訂するに至ったこれまでの取り組みや分会検証アンケートの結果を振り返り、今後の活用方法などについて学んでいただいた。また第34回定期中央本部大会において提起・承認された議案を全体で確認



し、8月20日に開催予定である第33回和歌山地本定期大会や、以降開催される各級機関大会に向けた課題共有を行った。その他、参加者を班分けして行ったグループディスカッションでは、役員育成と各機関組織の課題について話し合い、それぞれが抱える課題や共通する課題をお互いで確認しあうことができた。ディスカッション後の発表では「コロナ禍におけるコミュニケーションの課題・息抜きや仲間の和を広げるレクリエーションが開催しにくい現状・各機関組織における役員への技術継承の課題」などが挙げられた。

一概に答えとしては導き出せないが、三役クラスにおける共通の課題認識が確認できたことや、また別の課題で悩んでいる分会もあることなど、同じ場所・相手の空気感を感じながら話し合うことで得られることが多くあったディスカッションとなった。今後も、支部・分会がそれぞれ活性化しつつ、全体では組織を強固なものとする想いを確認し合い、全体写真を撮影してスクールを締めくくった。

## グループ外出向者への激励行動(Part8)を実施！

7月20日、貴志川町にある「八旗農園」さんに出向されている組合員の激励行動を行いました。当日、藤田さん(和歌山電車区分会)はお休みでしたが、岩本さん(和歌山車掌区分会)が業務していました。二人とも信頼され、活躍されていると伺いました。7月末の期間1ヵ月ですが、様々な経験をされているようで、戻ってからの活躍にも期待したいと思います。

